

現状

少子高齢化と人口減少、人口の一極集中

社会教育関係団体等の存続が難しい

地域コミュニティの弱体化

審議のテーマ

学校・家庭・地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく教育体制の構築に向けて
～子どもも大人も学び合い、育ち合うことができる地域をどのように形成するか、社会教育行政の役割を探る～

めざす姿

【北海道教育ビジョンの基本理念】

【自立】

自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む

【共生】

心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む

課題

地域コミュニティの形成

住民のつながりを基に、そこで暮らす住民が共通した課題をもち、協働で解決に当たるコミュニティをつくる

地域コミュニティの形成

求められる コミュニティの姿

市町村単位ではなく、生活範囲の中でその地域の住民が共通した課題意識をもち、協働で解決に当たることができる

- 社会教育に携わる者は、住民がコミュニティの課題に気付ける場や機会を創出するためのナビゲーターとしての機能を発揮し、
 - ・地域コミュニティ課題の把握
 - ・目指す姿の設定や課題解決のための方策の検討
 - ・具体的な取組に至る住民の学習を**オーガナイズ**する ことが求められている

【オーガナイズ】人々の学習活動を組み立て、形にしていく

社会教育関係 団体等の役割

社会教育関係団体それぞれのもつ特性を活かし、意図的につながりの場をつくり、住民の想いを形にする

【PTA】

- 地域住民の参画を得て既存の取組を連携して取り組む ⇒ 住民相互の絆の再構築
- 参加する保護者がその後の地域コミュニティの担い手としてキャリアアップすることが期待できる

【企業】

- 地域の実情や企業の特徴に鑑み、特色ある取組が求められている（CSR活動など）
- 従業員が抱える家庭の課題解決に向けてアプローチするなど、企業内での取組も期待される

【その他の団体】

- 本来の活動目的に立ち返り、現在の地域コミュニティの現状に鑑みながら役割を再発見する
- 「地域のために何か手伝いたい」と望んでいる若者たちの意欲を形にする

必要な環境整備

住民による社会教育活動を末永く**オーガナイズ**できる地域のコーディネーターを計画的に育成していく必要がある

【人のつながりを生み出すコーディネーターの養成や資質の向上】

- 地域コミュニティにおけるコーディネーターは、実生活の中で育むことが効果的である
- 日常的な社会教育関係団体への支援をととして各団体における信頼関係の醸成に努め、指導者を育ていく

【継続して連携して取り組むための方策】

- 社会教育委員が地域の課題をタイムリーに把握し、ネットワークのハブ的機能を担う
- 公民館等が地域コミュニティにおける課題解決の場として利用できるよう活用形態を見直し、住民による社会教育活動が持続的な取組となるよう支援していく

